

高齢者の状況

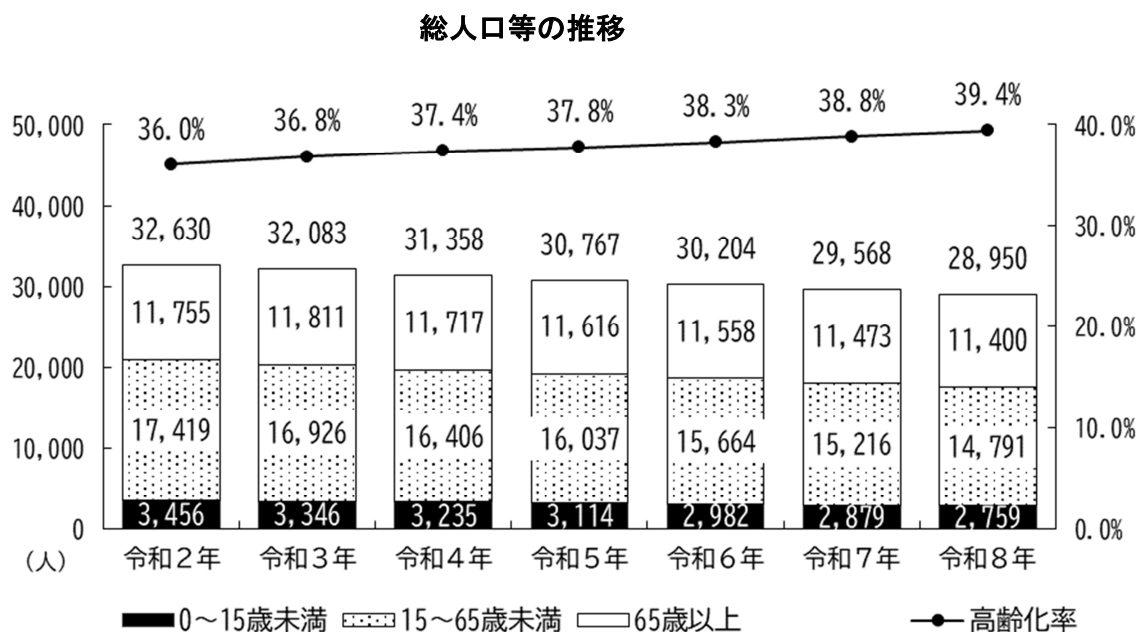
◎高齢者の状況のポイント

- ・ 総人口は減少傾向（令和 8 年 28,950 人）、高齢者人口は令和 8 年で 11,400 人、高齢化率は 39.4%で国（29.6%）・県（32.2%）を大きく上回る。
- ・ 高齢者人口のうち後期高齢者が 6,573 人（令和 8 年）、高齢者の 57.7%を占める。
- ・ 高齢者夫婦世帯（令和 2 年 1,583 世帯、平成 17 年の 1.3 倍）、高齢者単身世帯（令和 2 年 1,280 世帯、平成 17 年の 1.5 倍）が増加傾向。
- ・ 要介護認定者数（第 1 号被保険者）は令和 6 年度で 2,190 人、要介護度別の構成比で要介護 3 以上の割合が 41.4%と国（33.3%）、県（37.4%）を上回る。
- ・ 認定率は令和 3 年度で 18.6%、福井県（17.5%）を上回り、県内保険者で 3 番目の水準。
- ・ 被保険者 1 人あたりの給付月額、全国や県と比較して「短期入所生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「地域密着型通所介護」、「地域密着型介護老人福祉施設」で高い。

（１）人口の動向

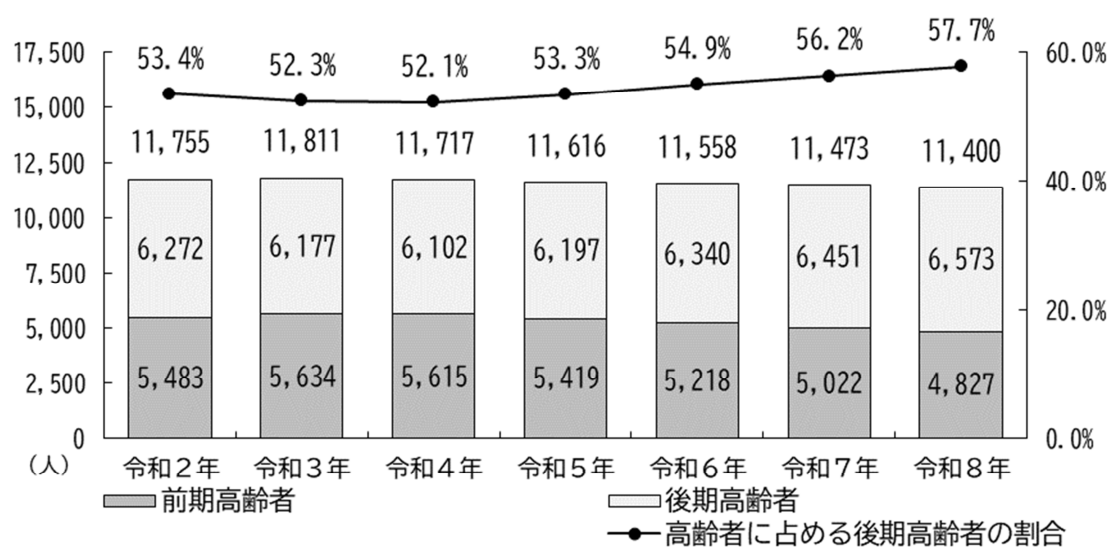
本市の総人口等の推移をみると、総人口は令和 2 年の 32,630 人から令和 8 年には 28,950 人へと一貫して減少傾向にあります。65 歳以上の高齢者人口は令和 8 年で 11,400 人と、高齢化率は 39.4%と国（29.6%）・県（32.2%）を大きく上回っています

高齢者人口の状況をみると、令和 8 年で前期高齢者が 4,827 人、後期高齢者が 6,573 人と後期高齢者が 57.7%を占めています。



※住民基本台帳（各年 3 月 31 日現在）

高齢者人口の推移

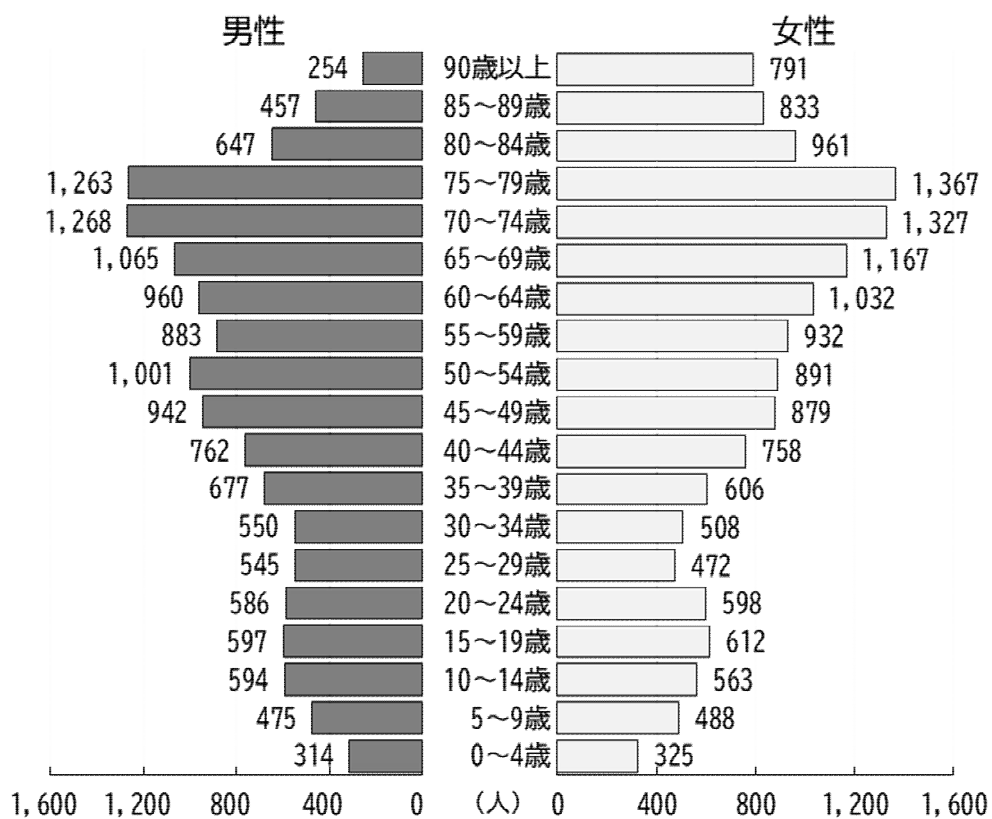


※住民基本台帳（各年3月31日現在）

（２）人口構造の状況

本市の人口構造を5歳階級別の人口ピラミッドで見ると、男性は70～74歳、女性は75～79歳の層の人口が最も多いです。団塊の世代（1947～49年生まれ）が75歳以上の後期高齢者となりつつあることが分かります。

人口ピラミッド（令和8年）



※住民基本台帳人口（令和8年3月31日現在）

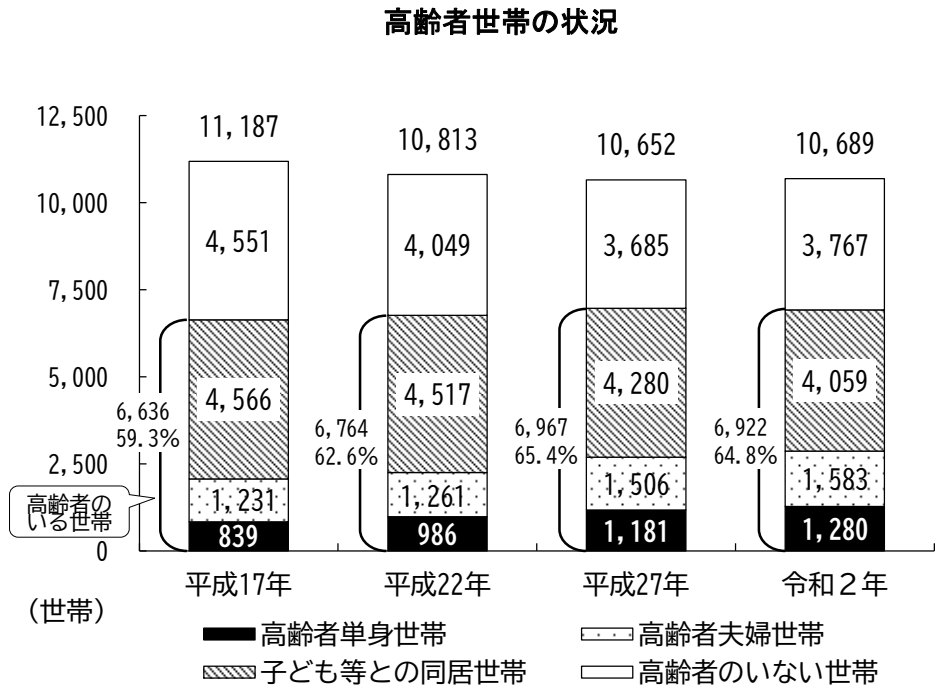
(3) 高齢者世帯の状況

本市の一般世帯（施設等の世帯を除いた世帯）は、平成17年の11,187世帯から令和2年の10,689世帯へ減少しています。

高齢者のいる世帯をみると、平成17年の6,636世帯から令和2年の6,922世帯へ増加しています。

世帯構成別でみると、「子ども等との同居世帯」が減少する一方で、「高齢者夫婦世帯」（令和2年1,583世帯、平成17年の1.3倍）、「高齢者単身世帯」（令和2年1,280世帯、平成17年の1.5倍）が増加傾向にあります。

令和2年の一般世帯に占める高齢者世帯等の割合を国・県と比較すると、高齢者夫婦世帯（14.8%）で国（11.7%）・県（12.1%）の割合を上回っています。



※国勢調査

一般世帯に占める高齢者世帯等の割合（国・県との比較）

（単位：％）

	大野市	福井県	全国
高齢者単身世帯	12.0	10.8	12.1
高齢者夫婦世帯	14.8	12.1	11.7

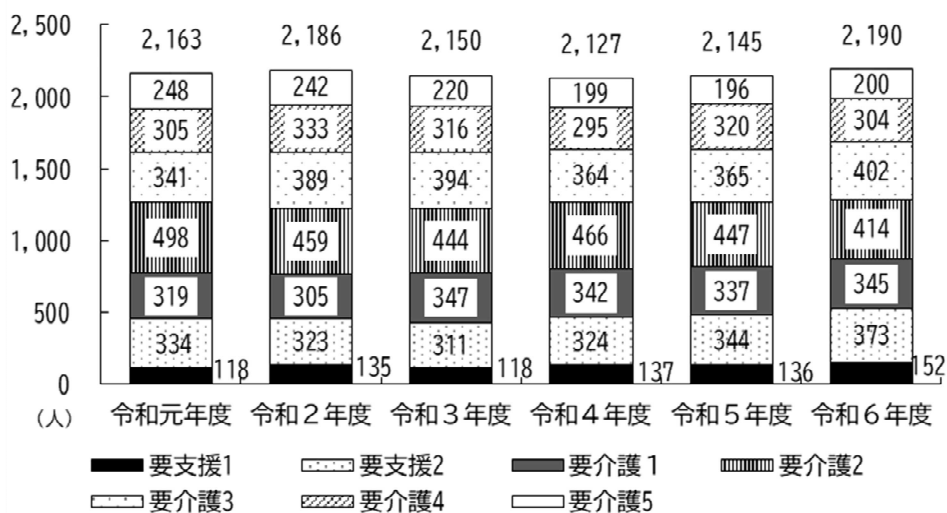
※令和2年国勢調査

(4) 要介護認定者

本市の要介護認定者（第1号被保険者）の推移をみると、令和元年度から2,100人台で推移し、令和6年度で2,190人となっています。要介護度別の構成比をみると、本市では要介護3以上の重度者の割合が令和6年度で41.4%と、国（33.3%）、県（37.4%）を上回ります。

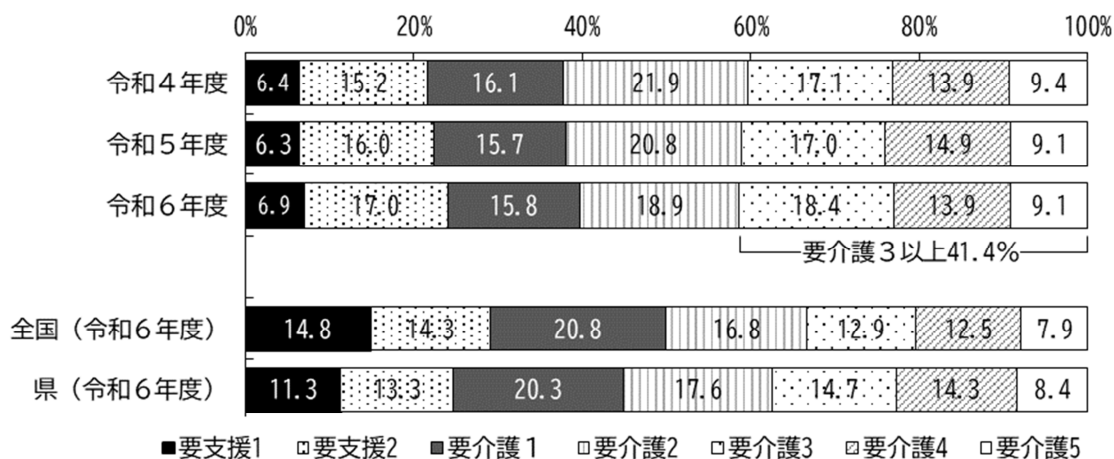
第1号被保険者における認定率をみると、本市は国、県を上回って推移してきましたが、令和3年度では18.6%と国（18.9%）を下回っています。また、認定率を県内保険者（市町）で比較すると、3番目に高い水準となっています。

要介護認定者（第1号被保険者）の推移



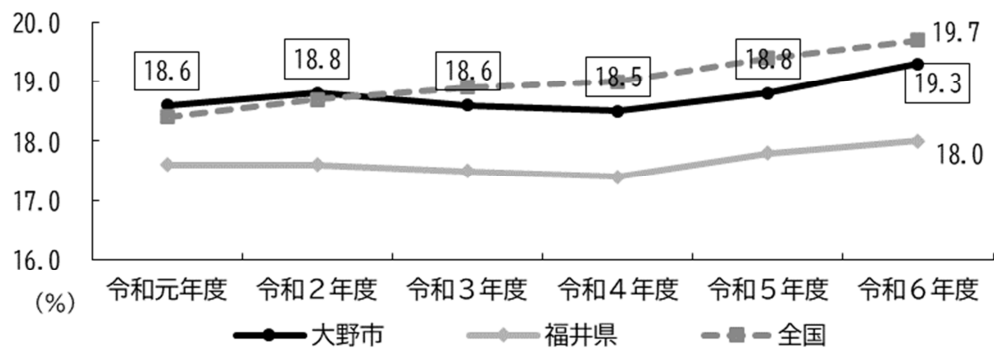
※介護保険事業状況報告年報（各年度3月末、令和6年度は月報）

要介護認定者（第1号被保険者）構成比の比較



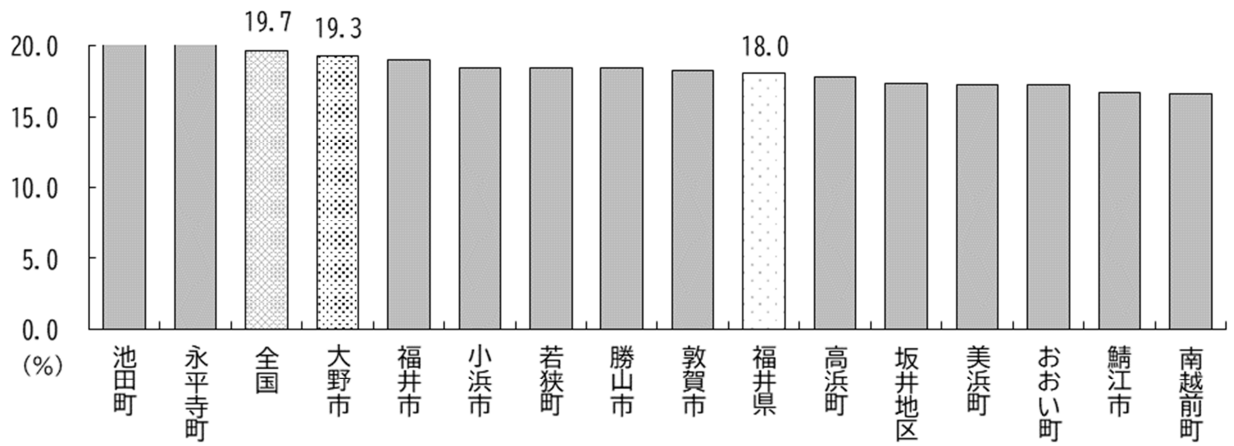
※介護保険事業状況報告年報（各年度3月末、令和6年度は月報）

認定率（第1号被保険者）の推移



※介護保険事業状況報告年報（各年度3月末、令和6年度は月報）

県内保険者の認定率（第1号被保険者）



※介護保険事業状況報告月報（令和7年3月時点）

（５）介護サービスの給付状況（被保険者１人あたりの給付月額）

介護サービスの給付状況をみると、全国や県と比較して「短期入所生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「地域密着型通所介護」、「地域密着型介護老人福祉施設」での被保険者１人あたりの給付月額が非常に高くなっています。

介護サービスの給付状況（被保険者１人あたりの給付月額）

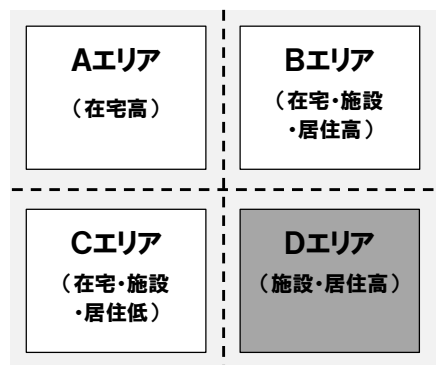
		大野市	全国	福井県	対国比率	対県比率
訪問介護	(円)	985	2,598	1,040	37.9%	94.7%
訪問入浴介護	(円)	5	116	31	4.3%	16.1%
訪問看護	(円)	636	979	745	65.0%	85.4%
訪問リハビリテーション	(円)	117	148	73	79.1%	160.3%
居宅療養管理指導	(円)	27	449	73	6.0%	37.0%
通所介護	(円)	3,125	2,830	3,233	110.4%	96.7%
通所リハビリテーション	(円)	1,037	996	1,147	104.1%	90.4%
短期入所生活介護	(円)	2,053	898	1,358	228.6%	151.2%
短期入所療養介護	(円)	23	101	125	22.8%	18.4%
福祉用具貸与	(円)	896	955	872	93.8%	102.8%
特定福祉用具販売	(円)	37	41	34	90.2%	108.8%
住宅改修	(円)	55	84	57	65.5%	96.5%
特定施設入居者生活介護	(円)	715	1,522	880	47.0%	81.3%
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	1,529	1,409	1,210	108.5%	126.4%
認知症対応型通所介護	(円)	220	156	330	141.0%	66.7%
小規模多機能型居宅介護	(円)	478	606	1,263	78.9%	37.8%
認知症対応型共同生活介護	(円)	1,274	1,644	1,603	77.5%	79.5%
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	441	179	414	246.4%	106.5%
地域密着型通所介護	(円)	1,526	885	516	172.4%	295.7%
地域密着型介護老人福祉施設	(円)	2,908	549	1,310	529.7%	222.0%
介護老人福祉施設	(円)	6,788	4,552	5,199	149.1%	130.6%
介護老人保健施設	(円)	1,316	2,904	3,518	45.3%	37.4%
介護医療院	(円)	841	536	666	156.9%	126.3%

※介護保険事業状況報告月報。令和７年３月末。赤字は国・県対比で 200%を超える項目

(6) 第1号被保険者1人当たり給付月額の状況

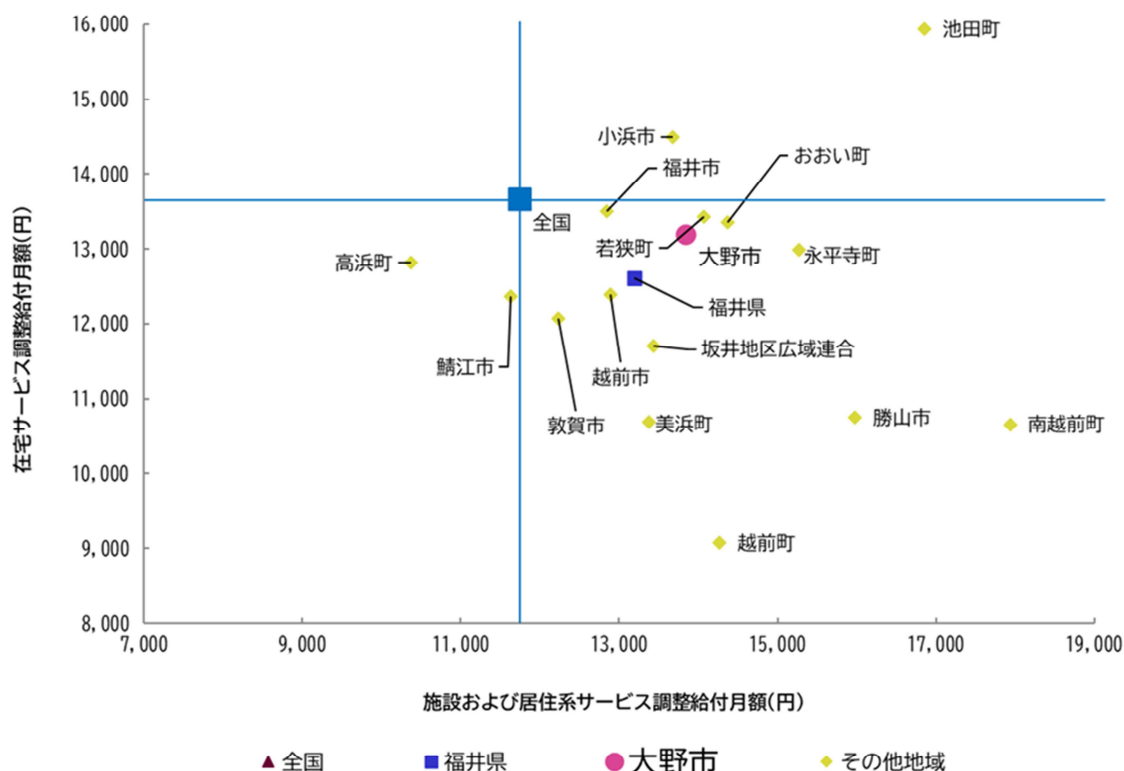
本市の給付特性を把握するため、調整済第1号被保険者1人当たり給付月額を、在宅サービスと施設及び居住系サービスという軸で分け、散布図で分析しました。

全国平均を中心に右図のような4象限に区分すると、Aエリアは調整済の在宅サービス給付月額が高い地域、Bエリアは在宅、施設及び居住系サービスともに調整済の給付月額が高い地域、Cエリアは在宅、施設及び居住系サービスともに調整済の給付月額が低い地域、Dエリアは調整済の施設及び居住系サービス給付月額が高い地域となります。



本市は、Dエリア（調整済の施設及び居住系サービス給付月額が高い地域）に分類されています。

調整済第1号被保険者1人当たり給付月額（在宅サービス・施設及び居住系サービス）



※「介護保険総合データベース」及び総務省「住民基本台帳人口・世帯数」（令和2年）、調整済第1号被保険者1人当たり給付月額とは、給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額を意味します。